

4. 子どもたちを育む環境を整える

重点施策

今、求められていること

- 核家族化の進行や共働き家庭の増加などにより、子育てに関する不安や悩みを抱える保護者が増加している中で、地域における子育て支援や小学生の放課後対策など、子どもの居場所づくりが求められています。
- 次代を担う子どもたちの豊かな個性と自立性を育むため、子どもたちが夢に向かって歩む力をつけることが求められています。
- 中学校卒業後における子どもの引きこもりなどが社会問題となっている中で、その対策が求められています。

取り組みの方向

- 地域に開かれた保育所や子育て支援センター及び幼稚園を活用して、地域の子育て支援を充実します。
- 幅広い世代の多様な担い手による子育て支援や親支援の取り組みを広げます。
- 子どもの居場所づくりを充実するため、障害のある児童の対象学年を拡大するなど、留守家庭児童会室の充実を図ります。
- 子どもの夢を育むため、芸術、スポーツなどの分野で活躍しているプロとの出会いづくりや、子どもが知的・技術的な関心や興味を高める取り組みを進めます。
- 中学校卒業後における子どもたちの成長を支援するため、多くの人との交流ができる機会を創出するとともに、相談体制を充実します。

<主要な取り組み>

- 保育所（園）における地域の乳児や保護者の交流の促進
- 一時保育（一時預かり）の拡充
- 地域子育て支援拠点の拡充
- 留守家庭児童会室の充実
- 子どもの夢を育む事業の充実
- 青少年の文化活動の支援